

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
田原本町	多地区(多集落)	平成29年9月	令和3年3月12日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	40.34 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	33.42 ha
③地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	9.16 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	4.31 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.04 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	10 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

現在、多地区の農地の多くを集落営農組合が耕作しており、今後も中心経営体として経営規模拡大の意向を持っているが、将来の人材確保が課題となっている。集落営農の維持、規模拡大を実現するためには、区画整備や高収益作物栽培などの検討・導入を図り、若者に魅力ある農業、収益が上がる農業経営を目指す必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

多地区の農地利用は、地区の合意形成を得ながら中心経営体である集落営農組合が担うほか、入作を希望する農業者の受け入れを促進することにより対応していく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
集	●●●●●●●●	水稻、小麦、WCS、米粉	31 ha	水稻、小麦、WCS、米粉	41 ha	多集落
認農	●●●●●	水稻、イチゴ	1 ha	水稻、イチゴ	1 ha	多集落
他農	●●●●●	イチゴ	0.2 ha	イチゴ	0.2 ha	多集落
計	3人		32.2 ha		42.2 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>農地の貸付け等の意向 貸付け等の意向が確認された農地は、55筆、43,464㎡となっている。</p>
<p>農地中間管理機構の活用方針 当該地域においては、担い手となる中心経営体である集落営農組合が存在し、農地集積が進んでいる。農地の出し手となる農業者の意向を把握しながら、農地中間管理機構事業を活用し、更なる農地の集積、集約化を図る。</p>
<p>基盤整備への取組方針 農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、多地区において、農地の大区画化等の基盤整備に取り組む。</p>